

# 社 会

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

<b>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</b>	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
<b>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</b>	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	3年 (4) ア 身近な地域や市町について、人々の生活との関連を踏まえて理解を深め、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養えるよう配慮されているか。 イ 地図帳や各種の具体的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養えるよう工夫されているか。
	4年 (5) ア 自分たちの県について、人々の生活との関連を踏まえて理解を深め、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養えるよう配慮されているか。 イ 地図帳や各種の具体的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養えるよう工夫されているか。
	5年 (6) ア 我が国の国土の地理的環境や産業の現状について、国民生活との関連を踏まえて理解を深め、我が国の国土に対する愛情や産業の発展を願い将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されているか。 イ 地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えるよう工夫されているか。
	6年 (7) ア 我が国の政治、先人の業績や優れた文化遺産、国際社会における我が国の役割について理解を深め、平和を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されているか。 イ 地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えるよう工夫されているか。
<b>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長</b>	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

### Ⅲ 具体項目

社会

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性を</p>	<p>(1) 「教科の特質に応じて、 「教育の目的」及び 「教育の目標」の達成に資する内容、構成となつて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日的課題であるICT・防災・道徳教育・グローバル化・SDGs等にかかわって、身近に感じ取ることができるような内容を取り上げ、社会の様々な側面に気付かせることで、進んで社会に参画していこうとする意識を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>様々な分野で活動する人々の話を取り上げるとともに、学習の成果を生かして自分たちからできることを考えたり、異なる立場から考えたりする学習場面を設定することで、社会の中で自らできることを考え行動していこうとする態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を学ぶ意味」や「市のこれからの発展」において、獲得した知識を基に、社会的な「選択・判断」やこれからの社会について「構想する」場面を単元末に設定することで、自ら主体的に考え行動するとともに、進んで社会に参画しようとする意識を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>「〇〇さんの話」として社会で活躍している多様な人物を数多く取り上げたり、「SDGsとつなげて考えよう」として持続可能な発展の視点から社会を見つめられるような内容を取り上げたりすることで、多様な人々と協働する意識を高め、よりよい社会を創り出そうとする意欲をもつことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsを中心に現代的な諸課題である人権・福祉、我が国の国土と歴史への理解と愛情、平和・国際理解、環境、情報、防災・安全等を意図的に取り上げて考えさせることで、社会の様々な事象について深く考えたり、かかわったりしていこうとする意識を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>単元の終末に、「私たちにできることを考えよう」や「これからの工業生産のあり方を考えよう」、「未来につなげる(私たちのSDGs)」などのテーマを設けて考えさせることで、よりよい社会の形成に参画し、自らの役割や責任を果たしていこうとする態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(2) 扱われていると長崎の伝統・文化に生かせる題材が</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年の自然災害の学習では、雲仙普賢岳の噴火による火砕流の様子を写真を使って紹介することで、自然災害の恐ろしさについて身近なこととして感じながら、それを防ぐ取組について学習を深めることができる内容になっている。</li> <li>6年の歴史学習では、島原・天草一揆や貿易拠点としての出島、朝鮮交流の窓口となった対馬などを文と絵で取り上げることで、本県が歴史の中で果たしてきた役割に気付くとともに歴史や文化に親しみながら学習を進めることができるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年の自然災害の学習では、南島原市の火山被害への対策について、導流堤と噴火被害遺構(校舎)などを文や写真を使って紹介することで、自然災害の恐ろしさと火山災害対策の重要性を身近なこととして感じながら学習できる内容になっている。</li> <li>6年の歴史学習では、平戸オランダ商館、島原・天草一揆、出島、島原市の青い目の人形などを紹介することで、本県が古くから国際交流において、大きな役割を果たしてきたことに気付くとともに、歴史や文化に親しみながら学習を進めることができるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年の「地いきの伝統や文化と先人のはたらき」では、本県に伝わる伝統行事や、教会などの建造物とそれらの保存にかかわる取組を単元を通して文や写真、絵を使って詳細に取り上げることで、行事や施設にかかわる人の思いや願いについて身近に感じながら学習できる内容になっている。</li> <li>6年の歴史学習では、南蛮貿易や島原・天草一揆、貿易拠点としての出島、朝鮮交流の窓口となった対馬を、文と絵、写真で詳しく取り上げることで、本県が歴史の中で果たしてきた役割に気付くとともに歴史や文化に親しみながら学習を進めることができるようになっている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

社会

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 確基礎的 て実 いるに習・ 得基本的 されるな 知識 工・技能 夫されが</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の「まとめる」では、学習内容を分かりやすくまとめた例を示したり、既習の学習内容を書き込めるようにしたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能について解説した「学びのてびき」のコーナーでは、学習を進めていく上で必要な情報の集め方、資料の読み取り方、考えの表し方等を解説することで、基礎的・基本的な技能が確実に習得されるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学び方・調べ方コーナー」では、学習の計画の立て方、見学の仕方、グラフの読み取り方、意見交換会の仕方などを解説することで、基礎的・基本的な技能が確実に習得されるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(2) かさ力解知 れ判決識 る断す・技 よう力能を 工夫表活 夫され力用 れ等必要し て等な課 い思題を 育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習過程を「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」として整理し、課題を追究・解決する学習を促すことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> <li>社会的な見方・考え方を4つの視点で整理し、イラストで示すことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に学習の進め方を示すモデル図を掲載することで、知識・技能を活用する道筋が示され、課題を追究したり解決したりする学習活動を促し、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> <li>各見開きでは、本時と次時につながる探究的な学習を促すことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を発見・追究・解決し、深めていくという学習の流れを示すことで、知識・技能を活用した問題解決学習を促し、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> <li>「見方・考え方コーナー」では、社会的な視点を空間・時間・関係の3つの視点に整理し、イラストで示すことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(3) て度主 いが体的 る身に か。に学 付く習 くよう 工取 夫組 夫組 されむ れ態</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のポイントとなる活動や問いかけを「まなびのポイント」として示すことで、見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>コラム欄や「ひろげる」のコーナーにおいて、学習内容に関連するエピソードや学びを深める話を紹介することで、学習への関心をさらに高め、進んで課題に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「つなげる」では、学びを広げたり、深めたりすることができる題材やSDGsとつなげて考えることができる題材などを取り上げることで、主体的に学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>AI技術により白黒写真をカラー化したり、自ら調べて考えるためのページを設定したりすることで、進んで課題に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元導入時に見開きで写真や絵を紹介し、さらに疑問となる点や「学習のまど」から、自ら課題を見つけ、それを解決する学習活動を促すことで、主体的に学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」では、興味・関心をもち、進んで調べたいと思う学習の展開例や資料を示すことで、進んで課題に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>

Ⅲ 具体項目

社会

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 慮員すてア さるとる理人身 されての跨解近 ているの愛をの地 か。情、を深活 の自覚、を、な を養地、地 え城、城 る社地 よう会連 の会社 踏まに え踏ま てい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はたらく人とわたしたちの暮らし」では、地域で働く関係者の話を多く掲載し、身近な地域と自分の生活とのかかわりに触れさせることで、自分と生活との関連を踏まえた理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>「市のうつりかわり」では、まちや人々の暮らしについて道路や乗り物や公共施設、暮らしの道具を紹介し、その移り変わりの調べ方を示すことで、地域社会に対する誇りと愛情を養えるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レシートや学校の消防設備、交通事故を防ぐ施設など、身近なところで目にしている物を調べる題材として効果的に取り入れることで、自分と生活との関連を踏まえた理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>学習したことを基に、市の良さをまとめたポスターや安全マップ、標語をつくる活動などの自分にできることを考えさせる学習を設定することで、地域社会の一員としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や地図から読み取ったことや見学して分かったことなどを「友だちの発言」として数多く掲載することで、自分と生活との関連を踏まえた理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>「わたしたちにできること」をポスターや標語にして話し合ったり、年表を基に考えを深め合ったりすることで、地域社会の一員としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>3 年 う判を課イ 工断促題 地 夫しすを 図 された追 帳 れてこと究 るもしな 各 をに、り種 表現考 す決し たた 力こ をた 養やす えす 選資 択料 活を 動基 よ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵地図や写真、吹き出しなどを組み合わせて分かりやすく構造的に提示することで、学習に見通しをもたせ、課題を追究したり解決したりする活動を促すことができるよう工夫されている。</li> <li>「まとめる」、「いかす」段階の学習では、「しょうかい地図」やポスター、「せんでんシール」、壁新聞の作成、ワークシートへの記入など多様な言語活動を設定することで、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題を含む絵や写真を吹き出しと組み合わせ提示することで、自ら学習問題に気付き、課題を主体的に追究したり解決したりすることができるよう工夫されている。</li> <li>「まとめる」段階では、関係図や地図、道具調べカードなど、多様な表現方法を示したり、学習したことを他の人と協働して表現する方法を示したりすることで、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真と地図を関連させて掲載したり、写真に吹き出しを付け、分かりやすく提示したりするなど、レイアウトを工夫することで、課題を追究したり解決したりする活動を促すことができるよう工夫されている。</li> <li>調査の仕方や話し合い方、学習のまとめ方を掲載し、自主的に調べ学習を展開できるようにすることで、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(5) る地め生ア よ城活、自 う社地、分 配社会のた 慮の一員ら されての具 いるとに ては、踏 の自覚を を養え、深 の愛情、を 解人 理々 と々 の自 覚を 養え</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「水はどこから」や「ごみのしよりと利用」の「いかす」段階の学習では、水の使い方やごみを減らす手立てを考えたり、自分たちのまちの良さを伝えたりする活動を仕組むことで、児童が地域社会の一員としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> <li>「きょう土の伝統・文化と先人たち」や「古いまちなみを生かすまち」では、古くから残る建造物や地域の伝統的な文化を調べる学習を随所に設けることで、地域に対する誇りと愛情をもつことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康な暮らしとまちづくり」では、私たちの生活・環境を守る人の話を写真と文章で数多く取り上げることで、人々の生活の様子や変化について、理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>「地域で受けつがれてきたもの」や「わたしたちの県のまちづくり」では、古くから残る祭りや伝統産業、建造物を具体的に調べる学習を随所に設けることで、地域に対する誇りと愛情をもつことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わたしたちの県」では、地形図や土地利用の様子、特産物や産業を取り上げ、自分の住む県の特色を調べる具体的な観点を数多く示すことで、自分たちの住む県の地理的環境と生活との関連について、理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>「地いきの伝統や文化と、先人のはたらき」では、五島神楽や黒島天主堂など、長崎県の歴史のある古い建物や祭りを単元を通して取り上げることで、長崎県に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> </ul>

III 具体項目

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>4 年</p> <p>養活にイ 選動課 択を促す のよう 判断す たこと ととも に、工 夫され てい るか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わたしたちの県」の「まなびコーナー」で積極的に地図の活用を促したり、各単元に県や地方を示した地図や写真等を随所に取り上げたりすることで、地図や資料を積極的に活用できるよう工夫されている。</li> <li>小单元ごとの「まとめる」段階で、文章でまとめる、写真やカードを活用する、発表する、話し合うなどの多様な表現活動を提示することで、習得した知識の定着を図り、表現する力が養われるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図を活用する学習場面では、土地利用図や防災マップなど、複数の地図を関連付けて示したり、地図と写真を組み合わせて表示したりすることで、地図や資料を積極的に活用できるよう工夫されている。</li> <li>小单元ごとの「まとめる」段階で、話し合いや関係図づくり、ガイドマップづくりなど、多様な表現活動を提示することで、習得した知識の定着を図り、表現する力が養われるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥瞰図や地形図、ハザードマップなど、様々な形の地図を随所に配置したり、巻末の「地図となかよしになろう」で積極的に地図の活用を促したりすることで、地図や資料を積極的に活用できるよう工夫されている。</li> <li>さらに考えたい課題について追究し、考えたことを話し合う「深め合い」活動を促すページを単元ごとに設定することで、習得した知識の定着を図り、表現する力が養われるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>5 年</p> <p>(6) え国連業ア 将土をの我 来を踏現 対まが するまに 担てに う配国 慮るの さ愛 れ情 るを て理 い る愛 を情 深解 めを 業の の深 自業 覚の をの 養発 え展 るの 自活 覚展 を境 をの 養関 え産 るの 明考解のイ 力え決基 したた礎 たのた的 りたり とり資料 すす帳 るるや よう選活 う活を 工・地 夫・球 を・儀 基・に 上課 を促 を計 に論 を討 を究 をた にの を各 を種 を説</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業と情報のかかわりの学習では、コンビニエンスストアの事例を示し、情報を管理しながら様々なサービスに活用していることを取り上げることで、情報を活用した我が国の産業の発展への理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>工業生産の学習では、導入で日本各地の工業製品を地図上に示したり、工業種類別の工業生産額の割合の変化を統計資料で掲載したりすることで、日本の工業の特色を理解し、我が国の産業の発展を願い、将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> <li>学習内容を選択する単元では、学習計画を立てやすいように、一覧になったページ（「学習の進め方」）を設けたり、写真や地図、統計資料を提示し活用したりすることで、課題を追究・解決することができるよう工夫されている。</li> <li>「自然災害を防ぐ」では、自然災害について豊富な写真や図などを用いて、国土の地形や気候と自然災害とを関連付けて示すことで、選択・判断したことを説明したり、議論したりする力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「未来を支える食料生産」では、減農薬の米作りや持続可能な水産業を取り上げることで、我が国の食料生産のこれからの発展と、持続可能な社会の実現を目指していくための具体的取組について、理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>「未来をつくりだす工業生産」では、福祉自動車の開発や女性や障害をもつ人が働く工場など、社会的な課題解決の事例を取り上げることで、日本の産業の現状を理解し、我が国の産業の発展を願い、将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> <li>「日本の国土とわたしたちの暮らし」では、国土の様子について、豊富な写真や地図、複数の統計資料を用いて自然条件と人々の暮らしを関連付けることで、課題を追究したり、解決したりすることができるよう工夫されている。</li> <li>「未来をつくりだす工業製品」では、ICTを活用した表現活動を掲載するとともに、これからの日本工業の強みを順位付けして説明する活動を設定することで、説明したり、議論したりする力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土についての学習では、地図と地球儀の違いや方位や距離の調べ方を詳しく取り上げたり、日本の気候の特色を把握するための資料を豊富に掲載したりすることで、国土の地理的環境について、理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>米作りの学習では、導入で米を使った様々な料理や製品を紹介したり、品種別作付面積の移り変わりや環境にやさしい米作りの取組などを紹介したりすることで、日本の農業の現状を理解し、我が国の産業の発展を願い、将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> <li>「情報をつくり、伝える」では、情報の種類や有効な活用、自らのかかわりを考える学習を促すことで、課題を追究したり解決したりすることができるよう工夫されている。</li> <li>「国土の環境を守る」では、公害問題や自然災害等について豊富な資料を用いて取り上げ、環境を守り、被害を防ぐために大切なことや自分たちにできることなどを考えさせることで、説明したり、議論したりする力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

社会

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(7) 我が国が我が国の歴史や伝統、先人の業績や優れた文化遺産について理解を深められるよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史学習では、知っている人物や文化遺産、既習事項等から学習へ導入したり、年表や各時代の想像図、グラフや写真資料等の読み取り方を「まなび方コーナー」として示したりすることで、先人の業績や優れた文化遺産について理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>政治・国際編の単元の終わりの「いかす」では、公園づくりやSDGsなどの課題について調べたことを発表したり、自分たちでできることを考えたりする場面を設定することで、我が国の将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカや中国、ブラジル、サウジアラビアなどの現地取材に基づいた世界各国の子供の日常生活の紹介記事を掲載することで、多様な人々との共生について理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>6年生の学習の終わりの「つなげる」では、6年生の学習をSDGsとのつながりで振り返り、大切なことや自分にできることを話し合う場面を設定することで、我が国の将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史学習の導入では、歴史学者からの手紙を通して歴史を学ぶ意味を捉え、自分たちの住むまちにある史跡や博物館を探訪する事例を示すことで、我が国の歴史や伝統、先人の業績や優れた文化遺産について理解を深められるよう配慮されている。</li> <li>政治学習では、障がい者の方の活動や待機児童問題等の具体的な事例を取り上げることで、我が国の政治についての理解を深め、我が国の将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>6年 我が国が我が国の歴史や伝統、先人の業績や優れた文化遺産について理解を深められるよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史編の巻頭には、歴史学習の基本として博物館見学のポイントや年表の見方を紹介したり、各単元の「ひろげる」では学習内容の補充、発展、比較するための社会的事象を数多く紹介したりすることで、課題を追究したり解決したりする活動を促すよう工夫されている。</li> <li>政治・国際理解単元の「まとめる」では、くらしの中で憲法が生かされている取組についてまとめたり、日本とつながりの深い国について調べたこと話し合ったり、意見文にまとめたりする活動を設定することで、説明したり、議論したりする力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治単元において、障害者差別解消法に着目して、障がいのある人のインタビュー記事や人権保障をめぐる課題についての事例、法律の成立過程を取り上げることで、日本国憲法や政治の仕組みについて具体的に学習を進め、課題を追究したり解決したりする活動を促すよう工夫されている。</li> <li>カラー写真化した白黒写真や、各時代の歴史的事象の想像図を豊富に示し、相互に比較したり、時間の推移に伴う変化を読み取らせたりする活動を設定することで、説明したり、議論したりする力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の歴史年表では、各時代の人物の絵を切り取って貼ったり、自分の年表を書き込む欄を設けたりする学習活動を設定することで、資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すよう工夫されている。</li> <li>国際理解の学習では、発表や話し合いの仕方を例示するとともに、「さらに考えたい問題」を示すことで、考えたことを説明したり、学習課題についてさらに考えを深め議論したりする力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>

Ⅲ 具体項目

社会

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記事内容となっているか。</p>	<p>・ 本文は、学習課題や問いに対応するような形で分かりやすく記述したり、「ことば」の欄を別に設け、学習上のキーワードとなる言葉を説明したりすることで、本文がより分かりやすく理解ができるよう工夫されている。</p>	<p>・ 3年と4年ではキャラクターによる対話を多く掲載して説明したり、5年と6年では対話を掲載せずとその分、記述を詳しくしたりするなど、発達段階に応じた説明内容となるよう工夫されている。</p>	<p>・ 文章による説明を少なくして、キャラクターによる対話を多く掲載することで、学習者にとって親しみやすい表現で課題意識をもたせたり、内容を理解したりできるよう工夫されている。</p>
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容と十分配慮されているか。</p>	<p>・ その時間に働かせる社会科の見方・考え方をキャラクターで示したり、資料の読み取り方や学習の進め方、まとめ方を示した「まなび方コーナー」を設けたりすることで、学習活動が円滑に進められるよう配慮されている。</p>	<p>・ 資料を折り込みで大きく掲載することで、学習意欲を高めるとともに、読み取る活動など効果的に行うことができるよう配慮されている。</p>	<p>・ 資料の読み取り方や見学・観察などの仕方について解説した「学び方・調べ方コーナー」や「見方・考え方コーナー」を示すことで、学びを深めることができるよう配慮されている。</p>
	<p>(3) レイアウトや色彩、文字の配置など、読みやすさ、見やすさ、学習意欲を高めるとともに、学習内容と十分配慮されているか。</p>	<p>・ 本文の文字、振り仮名共に比較的大きく読みやすく、5年と6年は分冊にすることで児童の取り扱いがしやすいよう配慮されている。</p>	<p>・ 各時間における学習の進め方を3段階で示したり（3・4年）、白黒写真をカラーに復元して示したり（6年）することで、学習意欲を高められるよう配慮されている。</p>	<p>・ 見開き上段に大きく中心資料を、左右に補助資料などをそれぞれ配置することで、本文と資料を関連させた読み取りがしやすいよう配慮されている。</p>